

おざき孝好通信

(後援会ニュース第4号)

発行：おざき孝好後援会 354-0022 富士見市山室2-1-7

第4回定例会開催

平成21年第4回(6月)富士見市定例会が、6月2日から17日までの16日間にわたって開かれました。

これまで、4月と5月に臨時会は経験していますが、定例会は初めてです。

6月2日(火)、午前9時30分開会。初日は、議案の説明が行われ午前中で終了しました。

議案調査のための休会をはさんで、5日に議案の審議と総括質疑が行われました。

また、9日には総務常任委員会、建設環境常任委員会、文教福祉常任委員会が開催され、各委員会に付託された議案等について審査されました。

そして10日、11日、12日、15日の4日間で、15名の議員が一般質問を行いました。

私も、会派の先輩議員の皆さんにいろいろと相談しながら準備をし、11日に初めての一般質問を行いました。

事前に先輩議員から、自分たちも初めての時は背中が汗でびっしょり濡れるくらいに緊張したという話は聞いておりましたが……。

11日の午後2時、いよいよ私の順番が来ました。

議長から指名をいただき、自分の席から壇上に向かう時は比較的落ち着いていたと自分では思っていますが、いざ壇上に立った瞬間、今までにない緊張感に包まれました。

議場の独特の雰囲気にも圧倒され、議員としての責任の重さを改めて実感した瞬間でありました。

初めてということで、緊張しても大丈夫なようにと原稿を用意し、それを基に質問をさせていただきましたが、つつい早口になってしまい、傍聴に来ていただいた皆さんには聞き取りづらかったと思います。反省しています。

次回はもう少しゆっくり話せるようにがんばります！

また、当日は後援会の役員さんをはじめ多くの皆さんにお忙しい中を傍聴においでいただき、本当にありがとうございました。是非お時間がありましたら、また傍聴においでください。

9月定例会は、9月1日(火)から開会される予定です。

6月議会一般質問

今回、「ふるさと富士見」を「活力あふれる もっと素敵なまちへ」という思いを込めて、大きく5つの点について質問いたしました。質問と答弁の概略は下記のとおりです。

1. 第5次基本構想策定について

まちの将来に夢や希望をもてるものをしていくことはもちろんですが、現実的な視点も併せ持ち、財政的な側面も考慮に入れて策定いくことも必要だという点も含めて質問いたしました。



質 問

- (1)「策定方針は」・・・方針について
- (2)「策定に向けての手法とスケジュールは」・・・現状分析と課題抽出、市民参画の方法について

答 弁

- (1)具体的なまちづくりの推進についても視野に入れた4つの視点を定め、多くの市民の皆さんが積極的に参加できるようにしていく。また、実行性の高いものにしていく。
- (2)第4次基本構想の達成状況調査、市民意識調査等をもとに様々な視点から現状分析、課題抽出を行う。

市民参加については、基本構想審議会の他に公募を含めた総勢40名の基本構想策定市民会議を設置する。その中に教育文化や健康福祉等の分野別部会も設置する。また説明会、懇談会等の開催、パブリックコメント等の実施も考えている。

注)基本構想:富士見市のまちづくりの長期的な展望を示し、将来都市像を定めたもの。

注)パブリックコメント:重要な施策を策定する際に事前に案を公表し、広く市民の意見を募集し、最終的な意思決定に活かしていく仕組み。

2. 行財政改革について

これまでも様々な取り組みがなされてきましたが、市民の皆さんの多様なニーズに応えていくためにも、引き続き行財政改革を推し進めて行かなくてはならない。また、今後政策的な経費に投入できる費用がマイナスに転じるという厳しい財政見通しもある中で、行政サービスの水準を維持していくためにはこれまで以上に財政の向上への取り組みが求められるという点から質問いたしました。

質 問

- (1)「行政経営改革指針に基づくこれまでの取り組みをどのように評価しているか」・・・評価と今後の課題
- (2)「健全な財政に向けた取り組みについて」・・・条例制定に向けた進行状況について
- (3)「事業仕分けについて」・・・実施概要、市民の参加方法そして実施結果の公表、施策への反映について

答 弁

- (1)これまでの取り組みがなければ、今の行政水準を維持できなかった。今後の厳しい財政状況の中では、行政と役割分担を見直し、簡素で効率的な行政経営を目指すべきであり、市民の皆さんの知恵を活用させていただく機会も設けていく。
- (2)財政運営の原則を定めることが重要。先進自治体の事例等の情報収集、調査研究を進めている。
- (3)7月に実施。250の事業の中から40の事業を抽出。政策シンクタンク「構想日本」から派遣されたメンバーを中心に無作為抽出した市民1000名の中から約50名方が参加し、その結果を基に市の方向性を検討し、可能な限り翌年度予算に反映させる。

3. シティゾーン等の土地利用推進について

今後の財政基盤の確立、雇用創出の一つの方策としての土地利用推進という視点から、市民の関心が高い山室・勝瀬地区の開発の関係とティゾーンを含めた土地利用推進について質問いたしました。

質 問

- (1)「山室・勝瀬地区の開発に向けて、市としてはどのように取り組んでいくのか」・・・市の取り組みと関係者への発信について
- (2)「計画的な土地利用推進への取り組みについて」・・・施策として積極的に推し進めるべきでは

答 弁

- (1)4月に「山室・勝瀬地区プロジェクトチーム」を発足し、活動を開始。関係者と十分な議論が尽くせるよう環境づくりに努めていく。地権者の皆様には開発協議会を通じて市の考え方は周知済み。周辺住民の方々をはじめ関係者へは機会あるごとに説明をしていく。
- (2)現状では難しいが、基本構想の見直しとあわせて土地利用構想についても再検討していく。

4. 防災力の向上について

防災力の向上には、地域の連携、連帯が欠かせないと考えから質問いたしました。

質 問

- (1)「自主防災組織の現状と今後の育成・支援は」・・・現状と各組織での活動状況、今後の育成、支援の方策、消防団との連携について
- (2)「実践的な防災訓練について」・・・どのようなことを考えられているのか

答 弁

- (1)「自主防災組織の組織率は、38.81%。登録団体25団体。各組織では防災訓練、研修会の実施等工夫した活動を行っている。市としてはノウハウの提供や活動費の補助を行っている。組織と活動の活性化のためにも地域防災力の要である消防団の地域防災活動への参加は大きなカギになる。
- (2)避難所での宿泊体験を含めた訓練実施に向けて取り組んでいく。

5. 道路整備について

「イムス富士見総合病院」の開業と今年の8月からの富士見川越有料道路の無料化という状況の変化に伴い、拡幅整備が急務と考え質問いたしました。

質 問

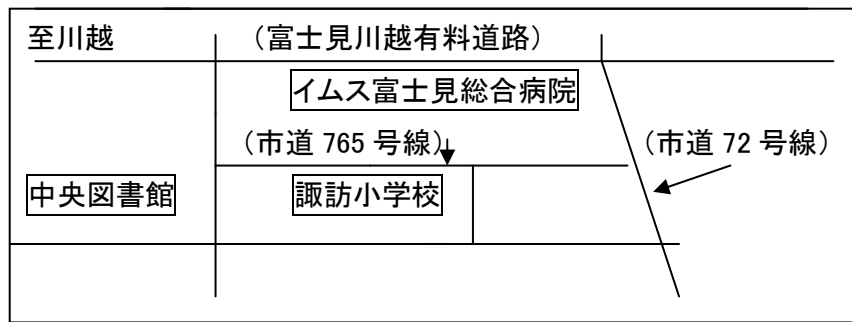
- (1)「市道72号線の拡幅整備」について
- (2)「市道765号線の拡幅整備について

答 弁

市道72号線については、市に管理が引き継がれる前から拡幅整備の必要性は認識しており、以前県によって拡幅整備に対する地権者への説明会が行われた経過があるが、県の方針変更により実施に至っていない。交通体系の変化などを考えれば必要性は大きいと判断しているので、平成22年からの整備着手に向けて取り組んでいる。地権者へはこれまでの経緯も含め十分な説明を行い、協力をお願いしていく。

市道765号線については、必要性は認識しており、関係地権者にも相談をしている。引き続き予算確保も含め早期事業着手に向けて取り組んでいく。

注)市道 72 号線と 765 号線の
位置関係は右図を参照



定例会等を終えて

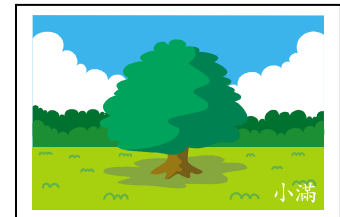
5月29日には臨時会が行われ、人事院勧告に伴う期末手当(夏賞与)の減額について議論を行いました。我々自身も議員提案により議員報酬の期末手当の減額を可決しました。

そして、6月議会では平成21年度富士見市一般会計補正予算など市長提出議案14件について審議し、全て原案のとおり可決・同意いたしました。その中で、ふじみ野駅周辺の新たな町名となる「ふじみ野東1～4丁目」と「ふじみ野西1～4丁目」についても決定いたしました。

また、市民から出されていましたが、「子どもの医療費無料制度を中学校卒業まで拡大することを求める陳情」については、全会一致にて採択されました。そして、議員提出の意見書1件について可決いたしました。

これからも、いろいろな方のご指導もいただきながら市民の皆さんの声をしっかりと受け止め、活力あふれる富士見市づくりに全力で取り組んでまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

暑さに向かう中、皆様にはくれぐれもご自愛ください。



後援会より

後援会ニュースについては、後援会役員とボランティアの方々により諏訪小校区を中心に手配りしていきたいと思っております。それぞれが空いた時間を利用してのポスティングになるため、タイムロスはありますがご精読ください。また、これから身近な地域情報などを入れながら読みやすいものを目指してまいります。

なお、ポスト投函は不要という方は、ご面倒ですが下記までご連絡ください。

プロフィール 昭和39年4月21日生

学歴 富士見市立諏訪小学校・東中学校卒 埼玉県立坂戸高等学校卒 専修大学法学部法律学科卒
経歴 志木市役所職員 富士見市立諏訪小学校PTA会長 富士見市行財政改革市民会議委員
富士見市青少年育成推進員 (社)東入間青年会議所理事長
現在 (議会関係) 総務常任委員会委員 入間東部地区衛生組合議会議員
(地域等) 富士見市消防団副団長 富士見市商工会総代 きたはら幼稚園評議員
保護司 専修大学校友会幹事

ご意見、ご要望等ございましたらお気軽にお寄せください。

連絡先: 電話 251-4520 FAX 255-2422

E-mail takayoshi@home.nifty.jp

